



楠隼 Letter

～ 来たるべき日のために ～

鹿児島県立
楠隼中学校
楠隼高等学校
第42号
令和5年3月発行



鹿児島県立楠隼
中学校・高等学校



【中学校】海外大学企業連携研修等を開催しました

3月に3年生は海外大学企業連携研修でシンガポールを、2年生はフロントランナーとの出会いで九州大学を訪れ、それぞれ研修を行いました。令和元年に実施して以来、3年ぶりの実施となりました。生徒たちはそれぞれの研修の地で、思う存分研修に没頭し、一回り大きくなって帰ってきました。また、1年生は、この期間にイングリッシュデイズを開催し、英語力と表現力に磨きをかけました。これらの貴重な体験の機会を今後の自分の進路について考えるよい機会とし、今後に生かしてほしいと思います。



中学1年生
オールイングリッシュで活動



中学2年生
九州大学に進学した先輩方と交流会



中学3年生
シンガポール大学で模擬国連

楠隼高校卒業の1期生が肝付町での人工衛星開発講習会で指導係をしました

3月4・5日(土・日)、肝付町の高山やぶさめ館で人工衛星開発を体験的に学ぶ講習会が開催され、楠隼高校卒業の1期生の富永さん(東京大学卒・野村総合研究所勤務)と六尾さん(日本大学大学院理工学研究科修士1年)が指導係として参加しました。参加者は楠隼高校生7人を含む学生・会社員17人でした。この人工衛星開発の講習会(HEPTA-satトレーニング)は、九州で実施されるのは初めてで、「どうしても後輩に受けさせたい。」というこの2人の熱い想いで実現しました。このトレーニングは、組立てからプログラミング、動作試験までを行え、人工衛星のシステムを学ぶことができます。2人は、「高校時代の学びは進路に大きく影響した。後輩たちも何か気付きがあれば。」と期待を寄せていました。参加した在校生は「内容は高度だったが、一つ一つの意味を考えながら取り組んだ。宇宙分野の職業への魅力も湧いた。」と充実した表情で話してくれました。

また、3月4日(土)の夜は、寮にいらして、在寮生に対し、野村総合研究所の仕事内容や大学院での研究内容の話などをしてくださいました。寮生たちは興味津々で話を聞き、質疑応答も非常に活発でした。楠隼の卒業生が、肝付町に帰ってきて、立派な姿を見せてくれたことが本当に素晴らしいことだなと感じました。

